

## 9月5日朝礼 校長講話

みなさんは怖いもの、恐ろしいものといったらどんなものを思い浮かべますか。昔の人は怖いものの代表を4つあげていました。「地震」「雷」「火事」「親父」この4つを怖いものとしていました。

「地震」と「雷」は自然が原因の災いです。「火事」は人間の過ちです。みなさんのお父さんは、きっと優しいと思いますが、「親父」が怒るとこわいということで、この4つが怖いものの代表として上げることがおおくなったようです。



この中で、今日は地震についてお話ししたいと思います。先生が体験した地震の中で、記憶に残っているものが21年前の阪神淡路大震災と5年前の東日本大震災があります。阪神淡路大震災の時は、朝6時前くらいで、突然背中からドンと突き上げるような揺れがあつて、何が起こったのかわからない状態でした。5年前の東日本大震災の時は、別の小学校に勤めていて、低学年の子たちが下校の準備をしていて、高学年の子たちは授業の真っ最中でした。そんな時に、ゆらゆらと大きな横揺れが長いこと続いたと記憶があります。そんな風だったのだけれど、愛知県は震源から離れていて、大きな被害は出なかったのだけれど、愛知県にも大きな地震が来る来ると言われていて、まだ来ていません。今日来るかも知れないし、明日来るかも知れない。あるいは、自分が生きているうちには来ないかも知れません。雷の怖さは経験したことがあつて、お父さんの雷は予想できるけど、地震はいつ来るかわかりません。いざというときのために、備えることはとっても大切なことです。1学期に地震体験車に乗ったよね。あんなのがいつ来るかわからないんです。しかも、どこにいるときに来るか、誰と一緒にいるときに来るかわかりません。いざというときに自分の命を自分で守れるようにしてほしいと思います。

今週、齋藤先生が、もしもの時に、どんな風に行動したらいいかを教えて下さいます。担任の先生からも教えていただきます。いざというときの行動を身につけてほしいと思います。